

新聞賣讀

2006年(平成18年) 5月17日 水曜日



ペンキで文字ずつ書きながら看板を仕上げる子どもたち(小浜市で)

空き古民家に自然学校

小浜・NPO開設 児童ら放課後の遊び場

子どもたちが放課後、安心して遊べる場所づくりに

取り組もうと、福井市のNPO法人「自然体験共学センター」は、小浜市谷田部の古民家を活用し、「わかさ自然学校」を開校した。

来年3月まで、地区の子どもたちを対象にキャンプや野菜づくりなどを行う。

文部科学省の地域子ども教室推進事業の一環で、空き家になっていた建築後約100年の民家を借り、地区内の小学生約20人に参加を呼びかけた。

参加。学校の看板をペンキで文字ずつ交代で書いて仕上げ、かまぼこ板で出席簿代わりの名札を作った。

口名田小6年の的場千明さん(11)は「いろんな話をしてくれる人がいるだけでうれしい」と話した。

局長は「子どもが巻き込まれる事件が多発している中、子どもが安全に過ごせる場所は重要。いずれ地区で運用してもらえ

るように、ノウハウを提供していければ」と話していた。

初回の15日には、4人が同学校の高井謙・事務